

平成27年度学校自己評価システムシート (県立八潮高等学校)

目指す学校像	「清纯 真摯」の校訓のもと、社会の中で力強く生きる力を育てる学校
--------	----------------------------------

重点目標	1 基礎学力の向上を図り、より高い進路希望実現を目指す。 2 部活動への積極的な参加を促し、生徒の行動力・実践力を高める。 3 保護者・地域との連携を強化し、生徒募集の安定化を図る。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	10名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>○生徒は教員の不断の取組みにより、授業やその他の学校生活でも落ち着いてきている。次の段階として生徒が自ら考えて学習し、基礎学力を向上させることが課題である。</p> <p>○進路希望実現は就職100%、進学98%を達成できている。また、今年度、次の段階としてより難関な進路希望の実現を図ることが課題である。</p>	<p>・生徒の基礎学力を向上させる。</p> <p>・進路希望100%を実現し、さらに難関な進路希望(就職は事務系・公務員等、進学は中堅以上の大学・短大等)を実現させる。</p>	<p>①教務部が企画・立案し、教科を中心に研究授業等の授業改善の取組みを行う。</p> <p>②進路指導部を中心に、より質の向上をめざす進路指導計画を策定する。また、課題考査を学期当初に行い、評価結果を生徒に還元する。</p> <p>③教育課程検討委員会を中心に基礎学力の向上と、より難関な進路実現に対応した教育課程を編成する。</p>	<p>①教科を単位として年2回の公開授業・研究協議を行い、改善の方向性を共有する。</p> <p>②進路希望100%を実現、さらに難関な進路希望を実現する。</p> <p>③基礎学力の向上と難関進路実現に対応する平成28年度教育課程を編成する。</p>	<p>①年2回の授業公開を行い、初任者を中心に研究授業を行うことができた。</p> <p>②就職は進路希望実現率99%を達成した。難関進路については事務系就職2名、中堅大学4名、公務員2名、高等看護学校1名である。</p> <p>③基礎学力向上と難関進路実現に対応する平成28年度教育課程は編成できた。</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>・来年度から学力向上について教科・分掌を横断的に取り組むための委員会を設け、学力向上についてより組織的な取組を行う。</p> <p>・進路実績の向上の裏付けとして基礎学力の向上が必要である。そのために再来年度普通科2学年以降に特伸クラスを設け、教育課程の差異の他、同一科目名であっても授業内容・考査内容等を他のクラスとの差別化を図る。来年度はその準備期間として、2年次進学クラスの指導の改良を試行する。</p>
2	<p>○これまで活動の少なかった部の活動が活性化しつつある。さらに全ての部の活動の活性化を図ることが課題である。</p> <p>○生徒は落ち着きを見せるようになったが、自信がもてない生徒も少なからず存在する。このような生徒が自信をもてるようにすることが課題である。</p>	<p>・部活動のさらなる活性化を図る。</p> <p>・生徒の体験活動を充実させる。</p>	<p>①長期休業中を除き、全ての部を原則週3回以上活動させる。</p> <p>②全ての生徒を、明確に部に所属・活動させる。</p> <p>③教務部を中心に部活動大会結果等の広報活動拡大を図る。</p> <p>④ゴミゼロ運動・清掃に学ぶ会や災害ボランティアバスバック等の積極的参加を生徒に促す。</p>	<p>①全ての部が年間を通じて週3回以上活動する。</p> <p>②部活動の実質活動人数が100%に近づく。</p> <p>③部活動大会結果等の広報が拡大する。</p> <p>④生徒の体験活動参加人数が延べ600人以上を実現する。</p>	<p>①多くの部は週3回以上の活動ができている。活動顕著な部活動は運動部では陸上競技部が全国出場、男子ハンドボール・ボート部が関東大会の出場を果たし、文化部では軽音楽部が県大会出場をはたしている。</p> <p>②部活動の実質加入率は98.4%である。</p> <p>③部活動の結果についてはHP更新および中学生向けに八潮高校だよりを発行している。</p> <p>④体験活動参加人数は延べ約400名である。</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・今年度の評価指標として活動日数を週3回以上と設定しているが、活動回数ばかりではなく、活動の質を高めることと、質の高さを測る指標の設定が必要である。</p> <p>・体験活動の参加人数は部活動の大会日程と重なるなどの要因で、目標値を達成できていない。そのため、日程の調整等が必要である。また、運動部中心の参加であるが、運動部以外の参加率も高める必要がある。</p>
3	<p>○中高連携委員会を中心に、職員の役割分担を明確化し、組織的な生徒募集の取組みはできている。しかし、入試における募集状況については厳しい状況であり、今後、より安定化した募集の実現が課題である。</p>	<p>・地域と連携し、安定した生徒募集を実現させる。</p>	<p>①中高連携委員会を中心に学校説明会の実施時期に応じて変化する中学生の要望に応じた内容を設定する。</p> <p>②中高連携委員会を中心に全教職員の生徒募集における役割分担を明確化し、中学校訪問を年2回以上実施する。また、塾訪問も実施する。</p>	<p>①学校説明会の実施時期に応じて説明方法・内容が改善でき、学校説明会の延べ参加者数が500人を超える。</p> <p>②生徒募集における全教職員の役割分担を具体化し、中学校訪問2回以上、塾訪問を1回以上、実施する。</p>	<p>①学校説明会の説明内容を改善した。説明会参加人数は1月中旬現在で約690人である。</p> <p>②全教職員の役割分担を明確化し、中学校訪問および塾訪問は計画通り実施できた。</p>	<p>A</p>	<p>・現状では苦しい状況が続いているが、中学校との交流・連携事業(教員の相互派遣・出前授業・中学生の体験授業受入等)はできている。今後も生徒募集の安定化および地域に根ざした学校実現のため、これらの事業拡大を図っていく。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成28年1月28日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・勉強が難しくなったと思う時期は中学校に集中している。わからないままにしないという復習の機会があるとよい。目標や夢があることが一番力になる。 必要感と達成感をいかに生徒に味わせるかである。進路選択と絡めて指導するしかない。</p> <p>・入学時より高い目標を維持することが必要である。さらに上級生の実現体験も下級生にとっては励みになる。</p> <p>・ホームページを見る人が多くいるので定期的な更新も安心材料の一つである。 部活動の活性化は現状で充分である。さらなる活性化のためには地域貢献が必要である。地域の小中社会体育などにも進出したらよい。</p> <p>・ビブリオバトルやスケアードストレイトなどの体験活動や講習会・講演会があると家庭で話がはずむ。学校行事を素直に吸収してくれて家庭で話してくれてとても楽しい。 体験活動は部活動単位の参加ではなく学校全体での参加が望ましい。 「やってよかった」、これを積み重ねるしかない。八潮は工場数県下4位であり、この地域財産を有効に使えばよい。中学でも三日間職場体験を実施して成果が上がっている。</p> <p>・市内ですれちがう生徒の様子が一番大事である。 特色ある行事・部活動、さらに進路実績が必要である。先生方の熱意と努力で「面倒見のよい八潮高校」を実現してほしい。先生方と生徒の信頼関係が口コミで広がることで応募者を増やすことにつながる。</p>	